

2016年度レクチャーシリーズ 大学・高校教育研究21

第1回 テーマ

アクティブラーニング導入のために

2014年12月の中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」により、文部科学省において高大接続改革の方向性が示されました。これに伴い本学では、昨年より次期学習指導要領改訂の目玉となるアクティブラーニングによる学習手法などの〈高校教育〉〈高大接続〉〈大学教育〉の三位一体の変革期における教育研究主テーマについて講演会を開催しています。この取り組みにより「知識・技能」のみならず、「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、その成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」や主体性をもって多様な人々と協働する態度など、真の学力の育成・評価に必要とされる「教育力」の強化拡充に本学が協力することを目的とします。

内容 昨今、双方型、参加型の授業形式であるアクティブラーニングが、強い注目を集めています。文科省も、ここ数年、PISA型の学習能力に重きをおく方針を打ち出してきました。そして、ここに来て、大きな大学入試改革が現実のものとしてタイムテーブルに上がり、それに併せて高校教育の改革も、待ったなしの状態となりました。

本講演では、二十年にわたってワークショップ型の授業を開発し、2009年度には文科省コミュニケーション教育推進会議の座長も務めた平田オリザ（本学客員教授・学長特別補佐）が、大阪大学リーディング大学院で行ってきた、最先端の選抜試験の実体験などを踏まえ、前半で実際に参加希望の先生方とアクティブラーニングの手法を用いたワークショップ型の授業を実施し、後半は、前半のワークショップを振り返りながらレクチャーをします。

講師 平田オリザ



(C) T.Aoki

プロフィール

四国学院大学客員教授・学長特別補佐
劇作家、演出家、東京藝術大学特任教授、大阪大学客員教授
1962年東京生まれ。国際基督教大学在学中に劇団「青年団」を結成。こまばアゴラ劇場を拠点に国内外で活動する。現代口語演劇理論を確立し、1995年、「東京ノート」で第39回岸田國士戯曲賞受賞。2003年、「その河をこえて、五月」で第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。フランスを中心に世界各国で作品が上演・出版されている。2002年以降、国語教科書にも採用された平田のワークショップの方法論に基づき、多くの子供たちが教室で演劇を創造している。現在、(財)演劇人会議理事長も務める。自身初の小説「幕が上がる」が2015年映画化。

日時

2016年8月10日(水) 15:30~17:00 ワークショップ
17:10~18:40 レクチャー

参加費
無料

対象

教育関係者・本学教員

申込
締切

2016年8月3日(水)

※この期日を過ぎて受講を希望する方は、リエゾン・センターにお問い合わせください。

定員

100名

会場

四国学院大学ノーススタジオ
駐車場あり(1回300円)

主催：四国学院大学
後援：香川県教育委員会

お申込み 方法

勤務校・勤務先、氏名、職務・役職、ワークショップ参加の有無をご記載のうえ裏面FAX用紙またはE-mailにてお申し込みください。
ご連絡いただいた個人情報は本講演の運営目的にのみ使用いたします。

お問い合わせ

四国学院大学 リエゾン・センター

〒765-8505 香川県善通寺市文京町3-2-1

TEL:0877-62-2111(内線545) FAX:0877-62-2208

E-mail:liaison@sg-u.ac.jp

※かがわコミュニティ・デザイン(KCD)推進事業は、四国学院大学が主催し地域社会における人と人とのつながり、香川県のコミュニティ・デザインを豊かにすることを目的として企画した事業です。

ACCESS



2016年度レクチャーシリーズ 大学・高校教育研究21 第1回

FAX申込書

FAXにてお申込みの方は下記記入欄に必要事項を記載の上、
FAXを送信ください。

四国学院大学 リエゾン・センター 行

FAX No. 0877-62-2208

ご記入欄	
勤務校・勤務先	職務・役職
氏名	
E-mail アドレス	
ワークショップ	
<input type="checkbox"/> 参加希望	<input type="checkbox"/> 見学希望
※参加希望の方は先着順とさせていただきます。(定員30名)	

四国学院大学
リエゾン・センター

〒765-8505 香川県善通寺市文京町3-2-1
TEL:0877-62-2111(内線545) FAX:0877-62-2208
E-mail:liaison@sg-u.ac.jp URL: <http://www.sg-u.ac.jp>

